

3学期始業式講話

おはようございます。明けましておめでとうございます。本日から3学期の始まりです。今年は令和8年、2026年、干支で言うと「午」年です。馬は千里を駆け巡ると言いますから、その勢いにあやかって1年間過ごしたいと思います。

本日は新年の始まりということですので、初夢、夢を語りたいと思います。皆さん小学時代の夢は何でしたか。私の時代は、プロゴルファーやプロ野球選手になりたいと文集に書いた人間が多かったです。私は大学の歴史の先生になりたいと書いてありましたから、今とあまり変わってないように思います。

皆さんは歌手の岡村孝子さんを知っていますか。私と同じくらいの年齢の方ですが、彼女の曲で「夢をあきらめないで」という歌があります。知っている方もいると思います。彼女は実は白血病になって歌手生活が危ぶまれました。闘病生活を乗り越えてコンサートを開けるようになりましたが、まさに歌のタイトルどおりです。似たような例として水泳の池江璃花子選手がおります。彼女も同じように白血病になって闘病生活をおくりましたが、復活しました。二人とも夢をもって生きてきたからかと思います。夢は生きる力になるんですね。

私の妹も夢を追いかけて生きてきました。高校を卒業して大学で教員免許をとっていたのですが、大学の生活の中で英語に興味を持ち、大学を卒業してさらに英語の専門学校へ通いました。そこで勉強したことを生かして海外で仕事をする試験を受けましたが、最終で落ちてしまいました。人生初めての挫折となり家で泣き続け、しばらくひきこもっていました。

それではいけないと、病院事務職に就いて働き始めましたが、海外で暮らしたいという夢は捨てきれず、一人でヨーロッパ旅行に出かけました。新潟からウラジオストクに飛び、さらにハバロフスクに行きました。どこの話をしているかというとロシアという国です。当時はソ連、ソビエト連邦と言いました。そこからシベリア鉄道に乗ってヨーロッパに向いました。そこまで1週間、鉄道に乗り続けるわけです。着いたヨーロッパは当時冷戦下で、東ヨーロッパと西ヨーロッパに分れていて、最初に東ヨーロッパのポーランドやハンガリーへ行き、その後西ヨーロッパを回りました。どこへ行っても英語ならば通じるということを実験できたということでした。

その後、日本に戻り病院事務の仕事をしていました。そこへ両親から結婚を勧められ、お見合いをしました。昔はそんな機会を作ったんですね。妹はあまり気乗りしなかったのですが、相手と話をした時に、同じように海外で働きたくて受験し、同じように不合格だった経験をしていて、お互いにウマがあつて結婚しました。

結婚して最初に中国の天津へ赴任しました。そうしたら私の父親の夢が叶いました。父親は死ぬまでに一回、万里の長城に行きたいという夢を持っていました。万里の長城は天津から北京へ行けば、バスで現地へ行けるんですね。

その後、いったんは帰国して子どもが生まれました。そして今度はアメリカのボストンで

義理の弟は働くことになり、二人の娘も連れて家族でアメリカ暮らしが始まりました。ボストンから次はニューヨークに移りました。ちょうどその頃、2001年9月11日、大きな事件がアメリカで起きました。9.11事件、皆さんご存じですか？ニューヨークで同時テロが発生し、貿易センターの高層ビルに飛行機が突っ込んだんです。多くの犠牲者がいる中、この時一家はニューヨークのアパートに住んでいて、ご主人を事件で亡くされた家族が多くいたそうです。幸い妹たちは無事でしたが、ショッキングな事件に遭っています。

その後は姪っ子たちの教育を考えて帰国して育ち、妹は大学時代に取得した教員免許を生かして小学校で教員を務めました。妹は3年前に60歳で亡くなりましたが、自分の夢を叶えて亡くなりました。さらに姪っ子たちも海外で働きたい思いを持ち、姉はロンドン、妹はニューヨークに現在住んでいます。

私の身近にもこのような例があります。皆さんも夢を持ち、それに向けて目標を設定して、この1年間過ごしていただきたいと思います。3年生で共通テストを受験する人たちは、夢を叶えるまず第一歩です。頑張ってください。

以上で講話したいと思います。

(令和8年1月6日、始業式)